

「国立大学法人職員必携」（平成 29 年版）の刊行に当たって

国立大学協会においては、毎年、国立大学法人の幹部をはじめとする教職員を対象とした研修事業を実施しています。平成 16 年の法人化以降、様々な大学改革が進み、その間も社会情勢が大きく変化していることから、これらの研修会の参加者に基礎的な資料集を提供するため、平成 25 年 3 月に「国立大学法人職員必携」を初めて作成しました。その内容は、戦前から今日に至る国立大学の歴史を振り返るとともに、法人化の理念や経緯、国立大学に関する基本的な法令や制度、さらには現在の諸情勢や課題をコンパクトにまとめたものとなっています。

平成 28 年 4 月には、第 3 期中期目標期間がスタートしたことを踏まえて、これまでの改革の取り組みや成果、また、国立大学経営力戦略や科学技術イノベーション総合戦略、未来投資戦略などによる新しい取り組みをアップデートし、更に、「国立大学法人の業務運営に関する F A Q」などの参考資料を新たに盛り込んだ平成 29 年版を作成しました。改訂作業に当たっては、本協会事務局職員の他、文部科学省等の関係者の全面的なご協力をいただきましたことに厚く感謝申し上げます。

本冊子は、前述したように、主として、本協会の実施する研修会の参加者に配布することを念頭に作成したのですが、それに限らず、各国立大学法人における新採用職員の研修用資料として、また、役員や職員にとっては国立大学法人や広く大学制度等に関する基礎的知識を確認するための、いわば必携資料としても、ご活用いただけるのではないかと考えています。

本冊子が広く皆様に活用されることを願っております。

平成 29 年 7 月

一般社団法人 国立大学協会事務局長
木 谷 雅 人